

《ふじハイツ町内会便り》

発行人 己斐ふじハイツ町内会
 会長 高橋宏幸
 電話 090-7774-6547
 メール h-taka@bj3.so-net.ne.jp

事務局 733-0813 広島市西区己斐中3-1-24
 事務局長 稲田勝彦
 電話 090-9410-7594
 メール inadakth@do7.enjoy.ne.jp

「やわ肌に柚子の寄り来る冬至風呂」(大方若郎)

12月、師走となりました。勤めをしりぞき、年齢を重ねると年の瀬があまり特別な意味を持たなくなるような気がします。ボーナスも忘年会もありません、クリスマスプレゼントをもらったりあげたりする楽しみもなくなりました。賀状書きも少なくなり、大掃除などもしなくなりました。と、つい年寄り向きのことばが出てきますが、もちろん、クリスマスイブにはサンタのおじさんが枕元にプレゼントを届けてくれることを信じて胸をわくわくさせている子どもさんや、ボーナスが出たら何を買い、誰と何を食べようかと楽しい期待に胸をふくらませているご家庭や若い方がたもおられることでしょう。

町内会は4月から3月の「年度」で動いていますので、年末だからといって特に振り返ることはありません。それでも今年には会長と事務局長がかわりましたのでそれなりの変化がありました、と言いたいところですが、今迄のところこれといった新しい事業・行事はおこなっていません。ただ、町内では、古い住宅が取り壊され、そのあとに複数の新しい住宅が建てられて比較のお若いご家族が入居され、しかも皆さんが町内会に入会してくださるといふ大変うれしい変化がより顕著にみられるようになりました。「若返るふじハイツ」ですね。

あわただしい師走が過ぎたら一息ついて、心身ともに若返ることにいたしましょう。

よい年末年始をお迎えください。

(事務局長 稲田 勝彦、筆名 おおかた わかろう)

《成人のお祝い》

町内会では、今年度も、平成29年度中に成人となられる方々にささやかながらお祝いを差し上げ、前途を祝福することにいたしました。回覧板で「成人お祝い申込書」により成人該当者のお申込みを受付けておりますので、遠慮なくお申込みください。

成人該当者：平成9年4月1日～平成10年3月31日の間にお生まれになった方。(就学・就職等のためご家族と別居されているお子さまも含みます。)

お祝い：3千円のお祝い金(来年1月8日[月]の「成人の日」までに、副会長さんがお届けします。)

《新年とんと祭り》

とき 平成30年1月14日(日)10時～12時、
(とんどの点火は11時)

ところ 己斐東小学校グラウンド

主催 己斐東学区社会福祉協議会

内容 おもちをつき、ぜんざいを食べ、おとなにはチョコッピリお酒も出て、お正月の飾りなどを持ち寄ってとんとで燃やし、1年の無病息災を祈ります。どなたでも参加できます。すべて無料です。

《町内一斉清掃日》

主催 己斐東学区公衛協・ふじハイツ町内会
 とき 平成30年12月10日(日)朝
 ところ 各地区自宅周辺

【いきいき活動ポイント手帳の押印について】

「ポイント手帳」をお持ちで、12月10日の町内一斉清掃に参加された方は、2ポイントのスタンプを押してもらえます。今回は、次のような日時・場所でスタンプ押印をおこないます。

1. 12月12日(火)11時～14時、長寿会12月例会がおこなわれる己斐東学区会館で。
2. ヨガの会、囲碁の会などの集まりで。
3. 組長さんが取りまとめて、ご希望の日時・場所で
4. 稲田事務局長宅で随時
(2～4場合は、電話090-9410-7594でご連絡ください。)

《新春もちつき交流会》

とき 平成30年1月6日(土)9:30～

ところ 己斐公民館

主催 「新春もちつき交流会実行委員会」

内容 もちつき、食パザー、スリランカ喫茶など

《高齢者地域支え合い事業》

《稲田勝彦氏の叙勲について》

「ひとり暮らしのわたしの身に突然なにか起こったらすぐ力になってくれる特定の方が町内にいてくれれば心強いのに」と思われることはありませんか。こんな気持ちに添えてくれる事業が始まりそうです。

去る11月8日(水)、己斐東学区社会福祉協議会(牧野道夫会長)の役員および地区町内会・自治会の役員等の集まりで、西区役所と己斐・己斐上地域包括支援センターによる標記事業の説明会がありました。その後、学区社協の常任理事会でこの事業に取り組むことが決まりましたので、まだ具体的な動きは始まっていませんが、かねてからふじハイツ町内会でもその必要性が論じられてきましたので、少しご紹介をしてみたいと思います。

1. 事業の背景

後期高齢者人口が大幅に増加することが予想されるなかで、高齢者が住みなれた地域で安心して暮らし続けていくことができるよう、地域住民や関係機関が連携して支援の必要な高齢者を支え合うことのできる地域づくりが必要になっています。

2. 事業の内容

まず、己斐東学区内で、地区住民を主体にした新たなネットワークを組織して支え合い事業に取り組み、己斐・己斐上地域包括支援センターに事務局機能を担ってもらいます。

具体的には、「見守り対象者」(見守りが必要と思われる高齢者等)に同意・登録してもらい、同じく同意・登録した「見守り協力員」(地域住民、ボランティア等)が見守り活動をおこないます。

3. 「見守り対象者」

「見守り対象者」とは、ひとり暮らし又は要援護者のみの世帯の高齢者で、①要支援・要介護認定を受けている者、②生活機能の低下や虚弱高齢者、③80歳以上の者、④その他見守りが必要と思われる高齢者等です。

4. 見守り活動

「見守り協力員」は特定の「見守り対象者」に対して、月1回程度の自宅訪問や出会った際の声かけをしたり、「夜に電気がついていない」など、気になることがあれば民生委員や事務局に連絡します。

5. 問題点

この事業は、すでに平成26年度から、西区のいくつかの地域で実施されており、平成30年度には己斐東学区でもぜひ取り組むよう要請されています。

ただ、実際に始まってみると、「見守り対象者」に該当する高齢者が、プライバシーの問題や負い目を感じたりして登録しないということも起こりそうです。また、「見守り協力員」も完全にボランティアですので人材が得られないこともありえます。しかし、このような問題を、試行錯誤しながら一つひとつ解決して、ふじハイツをいつまでも安心して住むことのできる町にしたいものです。

町内会長 高橋 宏幸

ふじハイツ町内の皆様も既に新聞報道などでご存知と思いますが、このたび平成29年秋の叙勲を、ふじハイツ前町内会長にして現事務局長の稲田勝彦氏が受章されました。「瑞宝中綬章」という大変名誉ある勲章であり、稲田氏およびご親族、関係者を祝福いたしますとともに、われわれ同じ町内に居を構えるものとしても非常に喜ばしく誇らしい出来事でした。

稲田氏はふじハイツ町内会長として昨年度まで5期10年以上務められ、また、現在も町内会運営に深くかかわっていただいております、この仕事ぶりも十分称賛されるべきと思われます。が、このたびの受章は稲田氏のかつてのお仕事に対するものです。

稲田氏のごく簡単な略歴ですが、広島大学教育学部を卒業後、大学院にて修士号を受け大学教員となられました。香川大学教育学部助手を経て昭和43年より広島大学総合科学部教官として教育、研究、大学運営にたずさわったとのことです。研究分野はアメリカ文学で、これに関する多数の著書、論文、研究発表があり、また日本エミリ・ディキンソン学会など4つの学会の会長を務められました。また文学研究以外にも大学の英語教育研究や幼児英語教育の研究も行ってきました。広島大学教授を停年退官後広島大学名誉教授、その後比治山大学教授、比治山大学・比治山大学短期大学部副学長の後、比治山大学名誉教授というまさに学者の王道を行くような華々しい経歴です。これらの数々の偉大な業績が認められこのたびの受章につながったのです。

本来ならわれわれ一般人は近づきがたく、雲の上の人のように簡単にお話ができるような立場ではありません。が、町内の集いなどにも気さくにはなしかけていただき、また町内のいろいろな雑用なども献身的に対処され、その名利を顧みない精神はただただ頭が下がるのみです。

この叙勲を祝う会を町内有志にてささやかながら12月2日に行いました。また町内会の慶弔規程により受章祝い金を贈らせていただきました。

この栄誉ある叙勲を機に、ますます我々をご指導いただきたい、いやいただけるものと信じております。



〈11月の役員会記録(抄)〉

平成29年度第7回役員会(11月18日〔土〕開催)では、次のことが審議・報告されました。

1. 成人のお祝いについて

別紙資料「成人のお祝い申込書」を回覧し、成人のお祝いの申込みを募ることとした。(本号第1頁に関連記事)

2. 慶弔について

別紙資料「己斐ふじハイツ町内会慶弔規程」に基づき、今年度秋の叙勲で「瑞宝中綬章」を受章した稲田勝彦氏に、受章祝い金10,000円を贈呈することとした。(本号第2頁に関連記事)

3. 会員の異動について

別紙資料「町内会員異動報告書」

C地区7組、山崎ひとみ⇒佐藤ひとみ(改姓)

4. 第9回(平成30年1月)役員会・新年会について

標記の会を次の日程等で行うこととした。

拡大役員会 平成30年1月20日(土)

18:00~19:00

新年会 同 日 19:00~

場 所 己斐東学区会館1階

会 費 1,000円

5. E地区ののり面の樹木の伐採要請文について

E地区、己斐中3丁目15番地近辺ののり面の土地所有者に対して、別紙資料「所有地の樹木伐採のお願い」を送付することとした。

[後記:土地所有者の株式会社の代表者宅に郵送しましたが、[宛先人不明]ということで返送されてきました。]

6. センターラインの道路鉾設置について

己斐中3丁目1番地森脇邸下の道路のカーブを通る車がセンターラインを越えることがあり危険なので道路鉾を設置してもらおうよう要請してはどうかという声が寄せられたことについて検討した結果、数年前に西区役所に同じ主旨の要請をしたことがあり、その時は「減速」という道路標識をつけることになったので、今回再度要請をしても同じ回答しか得られないことが考えられるという事務局長の説明があり、道路鉾設置の要請は見送ることにした。

7. 「家庭有価資源収集事業報告書」について

次の「報告書」を確認した。

第1~236回(平成29年8月まで)

2,568,075円(報告済み)

第237回 9月14日 3,733円

第238回 9月28日 6,975円

第239回 10月12日 5,844円

第240回 10月26日 7,867円

累計 2,592,494円

8. ゴミ捨てについて

11月3日(金、祝日)は、可燃ゴミ収集の予定がなかったにもかかわらず生ゴミを出したためにゴミが散乱したゴミ集積場があった。今後、このような場合は、当日のゴミかごに注意書きを貼ったらどうかとの提案があった。

9. 関連他団体の事業・行事等について

◇己斐東学区社会福祉協議会

・「高齢者地域支え合い事業」の説明会(11月8日〔水〕)

・常任理事会(11月10日〔金〕)

◇事務局長と佐藤顧問から別紙資料「『高齢者地域支え合い事業』への参加(検討事項)」により説明があり、己斐東学区社協としてこの事業に取り組むことになったとの報告があった。(本号第2頁に関連記事)

◇来年のとんど祭りについて

日時 平成30年1月14日(日) 9:00~

準備 1月13日(土)

詳細については12月の常任理事会で決める。

◇高齢者のつどいについて

新しい2つのアトラクションは好評であった。

◇「西広島周辺お店紹介マップ」につて

標記のパンフを町内会を通して各戸配布する。

◇今後の行事予定

1月 6日(土) 己斐公民館餅つき大会

1月 14日(日) とんど祭り

1月 26日(金) 社協新年互礼会

3月 5日(月) 高齢者と小学生との交流会

10. 次回第8回役員会の開催日

日時 平成29年12月16日(土) 19:00~

場所 己斐東学区会館

〈ふじハイツ祭りの会のご報告〉

ふじハイツ祭りの会(会長青野法昭、事務局長島友昭、会計松長幹正)では、今年も次のような行事を行い、町内の活性化に貢献されました。

「花見の会」(4月2日〔日〕)、「鯉のぼり」(5月)、

「夏祭り」(7月16日〔日〕)、「秋祭り」(10月

15日〔日〕)、「亥の子祭り」(11月4日〔土〕)

この間、町内の皆さまにはこれらの行事にご参加、ご協力していただき、また多くの方がたからご祝儀等をいただきました。去る11月19日〔日〕に開催された反省会において、収支決算報告がおこなわれましたので、ごく簡単にご紹介いたします。

収入 1,228,355円(祝儀318,000円)

支出 803,388円

差引 424,967円(次年度繰越金)

(収入は前期繰越金約47万円を含む。)

〈事務局長日誌より〉

—11月1日～12月4日—

11月3日(金)「文化の日」「瑞宝中綬章」受章の稲田勝彦の名前が新聞に載る。その後、国会議員、県知事、市長、議員、大学長などから続々と祝電が届く。叙勲にかかわる物品の売り込みのカタログやホテルの祝賀会案内なども続々届く。大変だあ!

11月4日(土)午前、己斐東小学校での己斐東学区老連主催のGG大会へ。◆午後、公民館へ行って、『町内会便り』(第96号)を印刷する。11月号も2頁版になってしまった。◆12種類の回覧・配布物を古滝事務局次長に渡す。

11月7日(火)アメリカから帰国中の娘と、終日、勲章を受取りに上京するのに必要な身の回り品の買物をする。眼鏡、コート、バッグ、Yシャツ、はては傘まで買い揃えたが、もう何年も使い古した物を買替える機会が与えられたのだと自分を納得させる。

11月8日(水)18時、学区会館で学区社協主催「高齢者地域支え合い事業について」の説明会があったが、うっかり忘れていて、牧野会長からの電話で急いで行く。(本号第2頁に関連記事)

11月9日(木)明日の勲章伝達式・拝謁のために新幹線で東京へ。久しぶりの上京だ。広島市内に受章者相手の業者がいて、切符や宿泊の手配から、貸衣装、記念写真まで一切をやってくれるので、身軽ななりで宿泊先の東京プリンスホテルにつく。ホテルでは、ご同類と思われる夫婦連れが沢山いて、チェックインに30分かかかる。

11月10日(金)10時、盛装して国立大劇場へ。午前中は伝達式があり、文部科学大臣の挨拶と8人の受章者代表が章状を受け取る。今年の秋の受章者は700人以上だそうで、式終了後、皆さん配偶者ととともに勲章を胸につけて記念写真を撮るなか、1人ぼつんとベンチに座ってサンドイッチなどを食べる。午後はバスで皇居へ行き、天皇陛下に拝謁、大広間で千人以上が待つなか、巡って来られた陛下を1メートルくらいの近さで拝謁できたのは幸運だった。「やあ、陛下!」と声をかけようかと思ったが、さすがにこれはやめておいた。夜は東京にいる二人の孫娘からお祝いの食事の招待。

11月13日(月)午前、廿日市の貸衣装・写場へ行き、改めてモーニングの盛装をして勲章をつけ、記念写真を撮る。ついでにヒゲ顔の葬式用写真も撮ってもらう。◆午後、「11月役員会案内」を作る。◆16時、下の道路の掃除をする。一斉清掃のときに出す落葉の入った袋が10個以上になった。

11月17日(金)午前、さくら保育所の「英語であそぼう」へ行く。◆明日の11月役員会の準備をする。来年1月の「成人の日」に合わせて、町内の新成人にお祝いを贈る「成人のお祝い申込書」や「町内会員異動報告書」、それに役員会の議案や報告の進め方を記した「会長・事務局長・会計手持ち資料」等をつくり、プリントする。

11月18日(土)19時、11月役員会、45分で終わる。

11月19日(日)18時、祭りの会の反省会・忘年会へ。参加者は新人2名を含め20名以上と盛会だった。反省会では、4月の花見の会では、子ども会とジョイントして、豚汁やお菓子の屋台などを出して参加者を増やしたかどうか、12月の公園のイルミネーションの飾りつけは、祭りの会としておこなう時代はもう過ぎたのではないか、などの意見が出される。

11月20日(月)10時、己斐公民館へ行って、山根館長と「己斐公民館開館40周年記念誌」発行の打合せをする。編集委員長を引き受ける。◆午後、井口の早稲田自動車学園での高齢者講習へ。ひと月前に受けた「認知機能検査」では、「記憶力・判断力に心配はありません」という結果だったので、講習は2時間。教習所のコースを運転する実技もあったが、どうやら来年3月の80歳の誕生日の運転免許の更新が可能になった。

11月21日(火)12月2日[土]に、町内の有志の皆さんが稲田の叙勲祝賀会を計画してくださっているので、「どんなことをした人が勲章をもらうのだろう」と思うかもしれない方のために「稲田勝彦略歴」をつくる。実際、同じ時期に広島大学を停年退官して名誉教授になった人はたくさんいたのに、何で稲田だけが叙勲に推薦されたのかいまだによくわからないでいる。

11月22日(水)雨のため定例のパークゴルフは中止、お蔭で回覧・配布物の印刷原稿づくりなど、町内会の仕事のはかどる。来年の手帳を買ったので、1月の行事予定などを書き込む。

11月24日(金)午前、学区会館で、長寿会文芸部の11月例会。この日の例会は忘年会を兼ねた稲田の受章祝い、持って行った額入りの勲章を2階の座敷部屋の床の間に置いて、10人の部員の皆さんがお弁当と飲物でお祝いをしてくれる。

11月25日(土)午後、古滝事務局次長に「成人のお祝い申込書」など6種類の回覧・配布物を渡す。◆19時、己斐公民館の運営委員会へ。来年、開館40周年を迎えるに当たり『記念誌』を発行することが決まり、稲田が編集委員長として紹介され、挨拶する。

11月26日(日)午前、学区体協主催のグラウンド・ゴルフ大会へ行く。珍しくホールインワンが2つも出て、3ゲーム52点で、断トツの1位!ワインをもらう。◆下の道路の掃除をする。

12月2日(土)18時、学区会館での「稲田勝彦さんの叙勲を祝う会」へ。1ヶ月ほど前から発起人の皆さんが準備してくださり、この日、豪華で温かな雰囲気の間がつかられ、40余名の方が集ってお祝いをしてくださる。皆さんからの身に余るお褒めのことばに、つい、「こんなに褒められるのはあと私の葬式のときくらいでしょう」といらぬことを言ってしまった。それにしても、地域の皆さんとの交わりをこんなに有難く思ったことはない。